



# ラブちゃん日記

Vol.  
34

新年明けましておめでとうございます、今年もよろしく願いいたします。

と云う書き出しで1月号の原稿を書く予定ではいたのですが、12月12日(日)にお祖母ちゃんの一周年が行われて、家族&親族が集まった席にお祖母ちゃんも天国から戻って来ていました。私はお祖母ちゃんに気付いていたのですが、人間族は誰も気付いては居ないようでした。お祖母ちゃんは「今日は仏壇に一泊して13日には帰るから、ラブも一緒に来ないかい？」と言うのです。さらに「ラブが1人で天国に来るのは道に迷っても困るし、拾い食いしては何時になったら天国の門をくぐるか心配だからお祖母ちゃんと一緒においで」と誘われると、私も「心細くなくてその方が良いかな」と思って、自分が思っていたよりはちょっと早かったのですが、今一緒に天国への階段を登っている処です。

遙か下の方にはE D Fの建物が見えるのですが、お父さんが私の亡骸にメンバーの皆さんとワンちゃんたちに最後のお別れをさせてくれている処です。皆さんの暖かい手が私の体を撫でてくれると動かない尻尾がもどかしく、喉を鳴らして喜

びを表したくとも「ゴロ」とも鳴りません。「戻れるものなら」とも思いますが、今さらどうにもなりません。

生を受けてから13年と10カ月、長いような短いような犬生でしたが、本当に多くの人達とたくさんのワン達との出会いがあり、出会いの一つ一つが偶然の産物ではあったのですが、今にして思えば全く必然性があったとしか思えない事ばかりでした。

この世に生を受けたちっぽけなこの命が、人の世に受け入れられ、私が受けた以上の喜びや楽しみを人間達にお返しできたとすればこれ以上の喜びはありません、皆さん長いことラブちゃん日記をご愛読いただいて本当にありがとうございました。

お父さん、お父さんの時は私が迎えに行きますから安心して待って下さい。

でも、もう一度生まれ変わってM家に行くかもね！ バイバイ

12月13日(M)



初登場 11歳のラブちゃん



本誌 vol2号から始まったラブちゃん日記です。残念ながら、今回が最後となってしまいました。創刊号の表紙を飾っていたのもラブちゃんだったんですね。本当に今までありがとうございました。

わんにゃん編集室一同 感謝の気持ちでいっぱいです。(合掌)